【地区別状況】

|  |  |
| --- | --- |
| ①地区名 | 南海高野線白鷺駅周辺地区 |
| ②基本構想策定時期 | 平成14年度（2002年度） |
| ③地区選定理由 | （１）交通バリアフリー基本構想策定にあたっての第１次抽出の視点  ①通勤・通学の利用が多い、あるいは商業施設の集積が高い地区で、バリアフリー化を今後とも進める必要がある地区  ③主要な公共公益施設が立地または計画されている地区  ④駅の改良・新設および駅周辺地区の開発・整備が計画されている地区  （２）平成14年度基本構想策定地区の絞込み理由  ○都市開発が進行している地区 |
| ④基礎情報 | 【1日平均乗降客数】  （平成11年度）10,099人⇒（平成30年度）10,527人  【地区特性（策定当時）】  ・本地区は、東地域、北地域、中地域にわたる地区で、駅周辺には集合住宅の他に、大阪府立大学、白鷺公園などが立地している。  ・本地区は、駅東側では、住宅市街地総合支援事業区域内にある集合住宅の建て替え事業中であり、今後、都心に近い大学のある住宅地として、中高層住宅と低層住宅が調和したまちの形成をめざしている。  【令和元年度の特定道路指定延長の状況】  0.2㎞（うち、未整備区間0.2㎞） |
| ⑤基本構想策定当時の課題 | ○鉄道駅  ・駅の構内・構外ともエレベーター等の段差解消施設が未整備である。  ・障害者用のトイレなど、利便施設の整備、案内サインの改良など利便性の高い施設への更新が課題。  ○駅前広場  ・現在、西側にロータリーがあるが、バスは乗り入れていない。  ○道路  ・地区内の歩道は、狭い箇所が多く、歩道の有効幅員の確保などの検討が課題。  ○信号・交差点  ・特定経路における音響信号機等の設置・改良など視覚障害者の横断の安全性の確保の検討。 |
| ⑥特記事項・備考 | ・当該地区内には、「堺市緑の基本計画（平成30年3月改定）」に位置付けられた15公園のうち、白鷺公園が含まれている。 |